

1. 下島地区に計画されている介護老人保健施設について

高齢化社会を見据え開成町でも介護施設が増えつつある。町は福祉対策を今後どのように捉えていくのか。下島地区南部に平成 30 年度移転が計画されている介護老人保健施設について、現在の進捗状況について伺う。開成町高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画第 6 期の中でも高齢者の人口の増加により利用者数の増を見込んでいる。なかでも介護を必要とする認知症の高齢者の数は 65 歳以上の人口の一割との統計もありこれからの高齢化に向けて、健康で長生きするためには病院と自宅の中間的な性格を持つ介護老人保健施設の需要は多くなるとされる。一方で町の果たす役割は大変重要になってくる。移転計画されている介護老人施設は、施設の老朽化に伴いアクセスが便利の下島地区に移転と聞いているが、駅にも近く周辺的环境も整っているこの地域への移転は下島地区の顔となるよう歓迎すべきと考える。地域に開かれた施設運営を希望するが、町の考えを伺う。

- ① 施設の規模や業務内容は。
- ② 近隣住民への周知は。
- ③ 施設周辺の市街化計画は。